



# SENKO

## CSR REPORT

### 2017

環境・安全・社会への取り組み

**特集1** 次の100年に向けて  
センコーグループホールディングスがスタート

**特集2** ありがとう!をみんなに  
こども交通公園など「100周年事業」を展開





# Moving Global

## 物流を超える 世界を動かす ビジネスを変える

### Contents

|                     |    |
|---------------------|----|
| ごあいさつ               | 02 |
| センコーグループの事業概要       | 03 |
| 特集 [特集1] 次の100年に向けて | 05 |
| [特集2] ありがとう! をみんなに  | 09 |
| 環境報告 環境活動ダイジェスト     | 13 |
| 環境方針、環境目標と成果        | 15 |
| 環境負荷低減への取り組み        | 17 |
| 安全報告 安全活動ダイジェスト     | 19 |
| 安全方針・安全マネジメント       | 21 |
| 現場での安全活動            | 23 |
| 社会報告 社会活動ダイジェスト     | 25 |
| 従業員とともに             | 27 |
| 地域社会とともに            | 29 |
| コーポレート・ガバナンス        | 31 |
| 企業データ               | 33 |

#### ■編集方針および報告の範囲

センコーは、2005年度から「環境・安全報告書」を3回発行してきました。2008年度からCSR推進委員会を設置し、従来から経営の重要事項と位置づけていた「環境保全」「交通安全対策」を含めたCSR活動の取り組み領域を明確にしたことを契機に「CSR報告書」として発行しています。

編集方針は下記の通りです。

- (1) センコーグループの特徴的なCSR活動を「特集」として紹介しています。
- (2) 記載対象範囲は、センコー(株)ならびにグループ会社の活動です。
- (3) 記載対象期間は、2016年4月から2017年3月までの活動ですが、一部2017年4月以降のものも記載しています。
- (4) 環境の報告は、環境省の「環境報告ガイドライン(2012年版)」を参考にしています。



ごあいさつ

## 未来潮流を創る企業グループを目指します

当社は昨年、創業100周年という大きな節目を迎えました。物流を通じて変革と挑戦を続けながら事業を拡大し、今では100社を超えるグループ会社を擁する企業グループへと進化してまいりました。

今年4月、当社は社名を「センコーグループホールディングス」に変更し、持株会社体制に移行しました。

これからは、5つの中核会社を傘下に、さらにグループの連携を強化し、物流・商事事業を核に海外事業の展開や新規事業の創出を図ってまいります。

一方、このグループの総合力を活かし、これからの100年に向けて持続的成長を目指すため、従業員1人ひとりが共有する基本理念、日々の行動基準を「センコーグループ企業理念」として策定し、体系化いたしました。

当社は、物流企業の強みのもとで、100年にわたり

モノ・情報の「流れ」を進化させてまいりました。これからも新しい「流れ」にチャレンジする「未来潮流を創る企業グループ」として、事業領域もライフサポート事業など、物流・商事以外にも広げてまいります。

当社が目指すのは、人を育て、人々の生活を支援する企業グループです。真に豊かなグローバル社会の実現に貢献していくため、より多くの皆様に信頼される企業グループとして評価いただけるよう、CSR活動に取り組んでまいります。

センコーグループホールディングス株式会社  
代表取締役社長  
CSR推進委員会委員長

福田 泰久

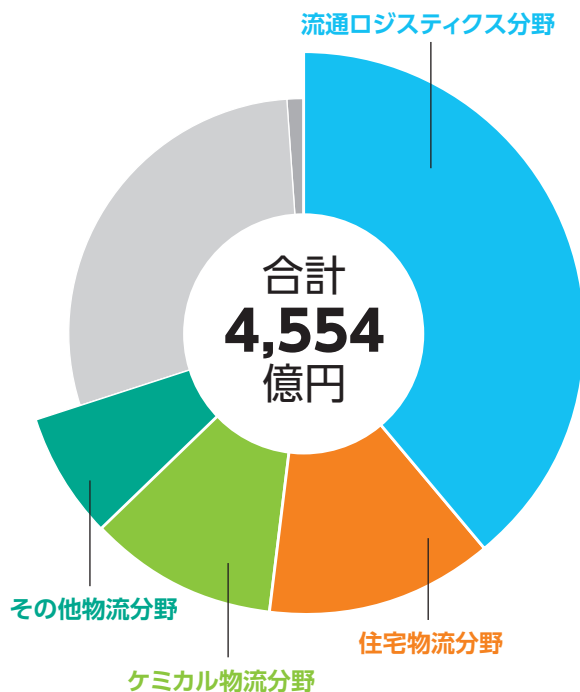
# センコーグループの事業概要

お客様のSCM\*構築を支援・実現するために、ITを駆使したシステムで最適な流通ソリューションを提供。物流を超える、世界を動かす、ビジネスを変える、そして社会の発展に寄与する事業を展開しています。

\*SCM(サプライチェーン・マネジメント):ビジネスプロセスの全体最適を目指す戦略的な手法・IT情報システム

## 物流事業

貨物自動車運送、鉄道利用運送、海上運送などの運送事業や、倉庫業、物流センターの運営などを行う事業です。多様化、高度化するお客様のニーズに対応した戦略的なロジスティクスの開発から運営まで、一貫して行っています。



売上構成

**39%**

売上高 1,776億円



売上構成

**13%**

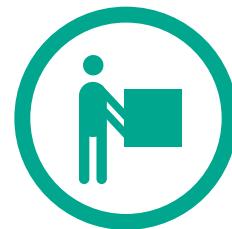
売上高 609億円



売上構成

**11%**

売上高 511億円

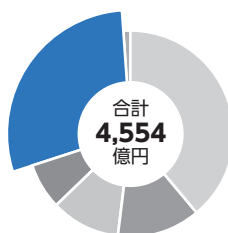


売上構成

**7%**

売上高 284億円

## 商事・貿易事業



売上構成

**29%**

売上高 1,329億円

商事販売、石油販売、貿易などを行う事業です。物流機器・資材、石油カードを利用した燃料の販売など物流に関する商材を販売するほか、日用品、包装資材、酒類などを卸売りしています。また、お客様の商材の輸出入などの貿易事業も行っています。



## 流通ロジスティクス

量販店や百貨店、専門店など、小売店向けの物流業務を行っています。GMS(総合スーパーマーケット)をはじめ、ホームセンター、ディスカウントストア、ドラッグストア、アパレルチェーン、通販など、さまざまな流通業界の企業のほか、食品や機械メーカーの物流業務も引き受けています。



## 住宅物流

住宅メーカーの製品を工場から建設現場へ輸送するサービスや、住宅資材メーカーの資材輸送などの物流サービスを提供しています。大手プレハブ住宅メーカーをはじめ、壁材や床材から、窓枠、キッチンなど、さまざまな住宅資材メーカーと取り引きしています。



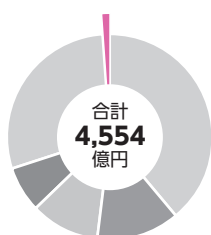
## ケミカル物流

プラスチックなどになる樹脂原料やプラスチック成型品、加工品、自動車や機械などに使われる潤滑油などの物流業務を行っています。センコーはケミカルメーカーの物流を創業時から行っており、長年のノウハウを活かして、ケミカル物流分野を拡大しています。



## その他物流

流通ロジスティクス、住宅物流、ケミカル物流以外の物流業務です。



売上構成  
**1%**  
売上高 46億円

## その他事業

情報処理受託、自動車修理、保険代理、太陽光発電などの事業から構成される部門で、物流事業、商事・貿易事業に含まれない事業です。



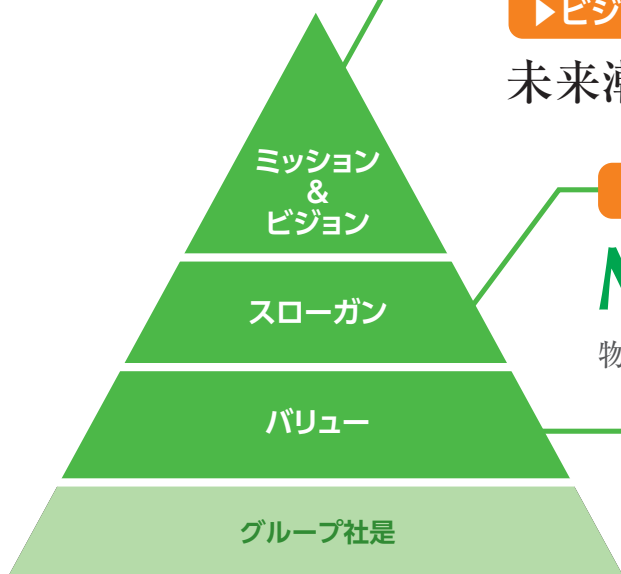
# センコーグループ ホールディングスがスタート

## 新しいグループ理念のもと、 『未来潮流を創る企業グループ』を目指します

2017年4月からセンコーはグループ各社の事業や機能を再編しホールディングス体制になりました。傘下のグループ企業は5つの事業領域とその領域を担う中核会社を中心に構成され、各社の『強み』や『特長』を活かし、さらなる企業価値向上を図ります。センコーグループは豊かな社会の実現に向け、これからも事業領域の拡大・成長を目指します。



### 新しく策定された グループ企業理念



#### ▶ ミッション (普遍的な使命)

人を育て、人々の生活を支援する企業グループとして、物流・商流事業を核に、未来を動かすサービス・商品の新潮流の創造にたゆみなく挑戦し、真に豊かなグローバル社会の実現に貢献します。

#### ▶ ビジョン (目指す企業グループ像)

未来潮流を創る企業グループ

#### ▶ スローガン (ミッション&ビジョンに込めた想い)

# Moving Global

物流を超える、世界を動かす、ビジネスを変える。

#### ▶ バリュー (グループの全従業員が共有する価値観)

**誠実 情熱 責任 敬意 多様性**  
Integrity Passion Commitment Respect Diversity

**IP CReD**

※略称の「IP CReD(アイピークレッド)」のIPは同一性保持、CReDはラテン語で志、信条の意味を持つ。

## センコーグループの5事業



### 物流事業グループ

83社

総合スーパー・ドラッグストア・ホームセンター・アパレル・食品などの流通業界、住宅・建材業界、化学製品などのケミカル業界を中心に国内外で物流サービスを提供しています。

中核会社:センコー(株)／(株)ランテック

### 商事事業グループ

15社

燃料、物流関連商材、日用品、包装資材、食品、酒類などの商事販売や、お客様の原材料や製品の輸出入、海外取引などの貿易事業を行っています。

中核会社:センコー商事(株)／(株)スマイル／アスト(株)



### ライフサポート事業グループ

6社

老人ホームなどの介護施設運営、家事代行サービス、引越、レストラン、ホテルなど、生活者を支援する事業分野です。

### 農業事業グループ

1社

鳥取の廃校を利用した葉物野菜やキノコ類の栽培・販売を中心に、お茶(熊本)、トマト(宮崎)、グラパラリーフ(千葉)などの栽培・販売も行っています。



### ビジネスサポート事業グループ

15社

物流コンサルティング、情報システム、不動産、人材派遣、通販事業者向けのコールセンターなど、お客様の事業運営を支えるサービス分野です。

※会社数は2017年4月末現在

# 企業価値向上と、 豊かな未来社会の実現へ グループ一丸となってCSR経営を推進

## センコーグループの成長戦略「SIP21」

センコーグループは、2017年4月から中期経営5カ年計画「SIP21」をスタートさせました。その方針の中で「社会的責任(CSR)の重視」を掲げています。

### グループ戦略の方向性

「SIP21」(センコー・イノベーション・プラン2021)は、「人々の暮らしと産業を支える企業グループ」として、新潮流の創造に挑戦し、新たな100年を切り拓いていく私たちの成長戦略です。

# SIP21

Senko Innovation Plan 2021

### 「Moving Global」の実現

～物流を超える、世界を動かす、ビジネスを変える～

グループ一体となり、  
国内外の経済・社会に  
イノベーションを起こす。

#### グループ中期経営目標

2021年度目標

|          |         |
|----------|---------|
| ● 営業収益   | 7,000億円 |
| ● 営業利益   | 280億円   |
| ● 営業利益率  | 4.0%    |
| ● ROE    | 10.5%   |
| ● 自己資本比率 | 40.2%   |

### グループ中期経営方針

#### 1. 事業領域の拡大

海外での事業拡大の加速、国内での既存事業の高度化、ライフサポート・ビジネスサポート事業などの新事業領域に進出する。またそのために、積極的な業務提携やM&Aも推進する。

#### 2. ブランド価値の向上

グループ総合力を結集させ「驚きと感動を与えるサービス」を提供し、顧客満足度(CS)から顧客感動(CD)へ進化する。

#### 3. 従業員満足度(ES)の向上

幅広い人材が集まり、成長し、活きる環境へ価値を高めるため、多様な制度づくりと活発な利用を通じ、従業員満足度を向上する。

#### 4. 社会的責任(CSR)の重視

地域・各地の産業、文化、自然を守り、育て、社会とともに成長する。

#### 5. 資本市場の信頼獲得

企業グループ全体の価値の最大化を図るとともに、財務健全性を高める。



## CSRの中期方針

当社グループをはじめ、仕入先や協力企業なども含め、コンプライアンス、CSRを重視する意識を高める。

### 重点施策

#### 1 環境活動

- ① 特定事業者として省エネ目標の達成に取り組む。
- ② 「省エネ化によるリデュース」「リサイクル率」「グリーン商品購入率」を向上させ、循環型社会へ貢献する。
- ③ グループ会社の環境情報を整備し、グループ会社への環境目標の展開を進める。
- ④ LED照明、低公害車など、環境負荷低減設備の積極的導入を進める。
- ⑤ 新拠点への太陽光パネル設置や、大型CNG車導入などで代替エネルギーの活用を進める。
- ⑥ グリーン物流の推進として、モーダルシフトをお客様に積極提案する。

#### 2 安全活動

- ① グループ会社の特性に応じた安全・衛生マネジメント体制を確立する。
- ② ビッグデータを活用し、各種安全関連システムの一元化を図る。
- ③ 事故を未然に防ぐ(アクティブセーフティ)技術を積極的に導入する。
- ④ 安全技術の継承と学びの機会を創出する。

#### 3 健康活動

- ① グループ全従業員の健康情報を管理し、健康寿命増進につなげる。
- ② 健康管理を強化し、健康起因事故を撲滅する。
- ③ ストレスチェック実施による予防管理体制を構築する。
- ④ 健康保険組合との連携による健康増進活動を強化する。

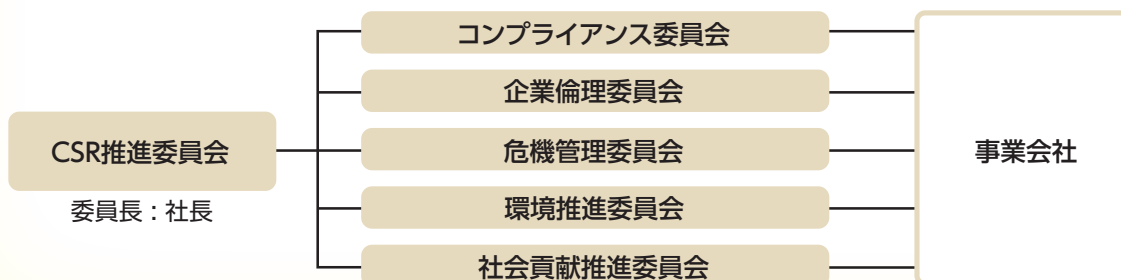
#### 4 社会活動

- ① 交通安全教室や地域清掃を積極的に行い、地域社会へ貢献する。
- ② 海外での教育支援などのボランティア活動を積極的に行う。

### センコーグループのCSR推進体制

さまざまな社会的責任を果たすため「コンプライアンス」「企業倫理」「危機管理」「環境推進」「社会貢献推進」の各委員会がCSRに関する個々の活動を推進しています。

さらにセンコーグループホールディングスの社長を委員長とするCSR推進委員会が各委員会を統括しています。



## ありがとう!を分かちあった 100周年事業

センコーは創業100周年事業を通じて、  
ステークホルダーの皆様への感謝を伝える取り組みをはじめ、  
地域貢献や次の100年に向けた、さまざまな活動を行いました。

**100<sup>th</sup>** 2016年  
創業100周年

100周年  
Report!

01

### グループ従業員でCSR積立募金

従業員の募金と会社からの  
拠出金を集め、地域に寄付!

創業100周年の感謝の気持ちを社会に還元するため、2014年9月  
から2年間にわたり募金活動を行いました。グループ従業員2,492名  
が参加し、金額は約5千万円になりました。これに会社拠出金と合わせた  
1億円を地域の自治体や施設などに寄付や寄贈し、役立てていただき  
ました。

(公財)交通遺児等育成基金の内田専務理事(右)に  
寄付金を手渡しました



### 総額1億円を、全国72の自治体や施設に寄付しました



久留米市が購入のソーラー  
パネル式LED交通安全教育  
用信号機

大阪市を通じて児童福祉施設への  
知育玩具などを寄贈した際のお礼状



古河市の公園に時計塔を設置

東近江市に安全教室で使う  
自転車シミュレーターを寄贈

100周年  
Report!

02

## こども交通公園をオープン

クレフィール湖東に、交通安全が楽しく学べる公園をオープン!

2016年7月、センコーの交通安全研修施設「クレフィール湖東」敷地内にオープンし、多くの子どもたちが訪れています。交通安全の大切さを体感していただくとともに、“物流”が社会を支える重要なインフラであることを紹介しています。

### ●こども交通公園 施設概要

所在地：滋賀県東近江市平柳22-3

敷地面積：11,500㎡

建物面積：460㎡(センターハウス)

入園料：無料



次世代育成と交通安全をコンセプトに  
遊びながら学べる体験コーナーなどが盛りだくさん!

運転手の目線で運転できる

### ラジコントラックタウン

小型カメラを搭載したラジコントラックでジオラマの市街を走行。信号などもあって、トラックドライバーの目線で運転が楽しめます。



物流業界で働く乗りものを映像で紹介するコーナーも!

### はたらく乗りものギャラリー

### その他の体験コーナー

- キッズコーナー
- キッズトレイン
- アスレチックゾーン



安全運転&エコカー体験

### EVカードライビングコース

トラックやバス、パトカーなど、いろんなEVカーを運転。信号を守り、交通標識を確認しながら、交通安全を学びます。



100周年  
Report!

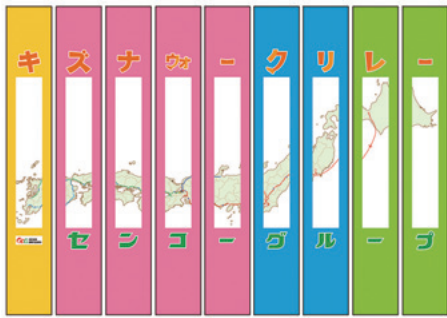
03

# “キズナ”ウォークリレーを開催

## 毎日走る道路に感謝!

## 1年をかけて、グループ従業員で日本をタスキリレー

日頃お世話になっている道路に感謝するため、ウォークリレーを1年かけて行いました。札幌、新潟、千葉、富山、三重、奈良、南大阪、水俣、鹿児島からの各ルートを経由して、グループ会社、支店、営業所の計198チームが9本のタスキをつないで「クレフィール湖東」を目指しました。



9つのエリアのタスキをつなぐと、日本地図が完成

### グループ全従業員が一丸となって「道路」と「地域」へ感謝の行進

名所を  
楽しみながら



延べ  
2,461名が  
参加

3,005Kmを  
踏破

※点線部分は徒歩以外の移動

仲間と一緒に  
頑張ろう!

手を取り合って、  
ゴール!



九州西ルート

九州東ルート

2015年7月11日

創業の碑  
(熊本県水俣市)を  
スタート



みんなの応援を  
受けて

2016年7月3日

ゴールは  
クレフィール湖東



タスキは新たな100年を担う新入社員へ

100周年  
Report!  
**04**

## 従業員と家族が集まり地域別交流イベント

地域の特色を活かした交流イベントを国内では18カ所、海外では中国、タイ、カザフスタン、北米など9カ所で開催しました



バーベキューやゲームを楽しんだ記念イベント



多くの従業員と家族が集まり、スポーツイベントを開催



タイではホテルでパーティーを開催



大運動会、抽選会で盛り上がった

100周年  
Report!  
**05**

## お客様や取引先様との交流イベント

「感謝」を伝え、絆をさらに深めるために、100周年記念パーティーを開催しました

東京と大阪の2地区で、計1,020名のお客様、取引先様をご招待



福田社長の開宴挨拶



お客様や取引先様とともに鏡開き

ゲストの女流囲碁棋士の吉原由香里六段(中央)、万波奈穂三段(右)のご祝辞



# 環境活動ダイジェスト

昨年の  
取り組み

物流企業として社会的責任を果たすため、CO<sub>2</sub>排出を抑制する取り組み、お客様と一体となった「グリーン物流」を推進しています

## 「エコ&セーフティーシステム」で、 運転データを“見える化”し、燃費を向上

センコーグループでは、安全運転とエコドライブ結果を指数化する「エコ&セーフティーシステム」を導入。各ドライバーのE&S指数を、2016年度から「自動車管理web」と連動させました。

個人、車両、営業所、支店、会社ごとのE&S指数と燃費が一画面で確認でき、エコ運転への取り組み意識が一段と高まっています。



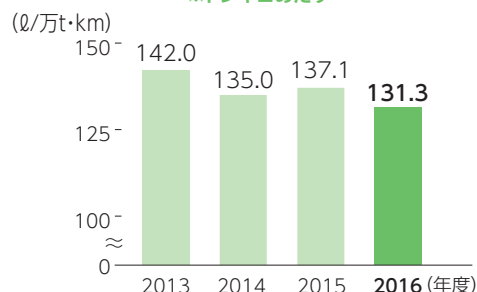
### システム改良のポイント

- ①ドライバー別、営業所別に「見える化」
- ②日々の走行結果確認、ランキング化による燃費向上への意識向上

トンキロ当たり燃料使用量を  
前年比**4.2%**削減

### 燃料使用量

※トンキロあたり



※トンキロ：輸送した貨物の重量にそれぞれの貨物の輸送距離を乗じたもの

## CSR VOICE

### CO<sub>2</sub>排出量を5年間で8,310トン削減を目標に 取り組みを展開



日本政府が国際社会に約束した「温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)排出量を2013年度比で2030年に26%削減(物流部門は27.4%削減)」を達成していく上で、当社グループは、中期経営5カ年計画(SIP21)に基づき、「第6期環境マスタープラン」を策定しました。

このマスタープランでは、「CO<sub>2</sub>排出量を5年間で8,310トン削減」することを目標に掲げ、エネルギー使用量の削減を目指します。また、お客様にご理解をいただきながら「モーダルシフト」の推進や物流拠点のLEDなどの省エネ設備、天然ガス車といった最新機器の導入を行うことで、目標を達成してまいります。

センコー株式会社 いざわ ただお  
安全品質環境管理部長 井澤 公男  
(兼)環境推進グループ長

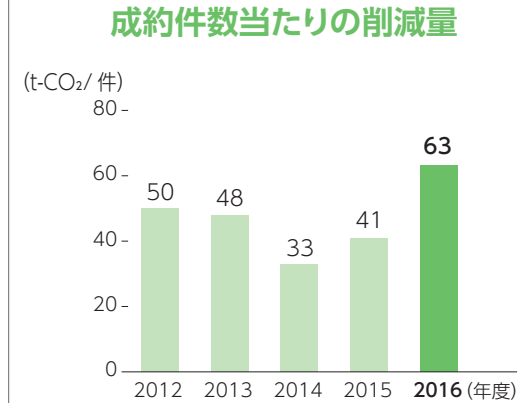


# 「モーダルシフト促進カタログ」を刷新 グリーン物流の提案を強化しました

鉄道・海上輸送へのモーダルシフトでは、当社グループの実績は高く評価されています。

一例として、2016年度はアパレル商品を鉄道輸送に転換しました。このようなグリーン物流の取り組みをより多くのお客様に知っていただくため、モーダルシフトのカタログを刷新。提案活動を強化し、お客様の環境負荷低減を支援しています。

大口のお客様とのご成約により、  
1件あたりでは  
前年比 **54%** のCO<sub>2</sub>を削減



## モーダルシフト取り組み優良事業者賞 「新規開拓部門」を受賞！

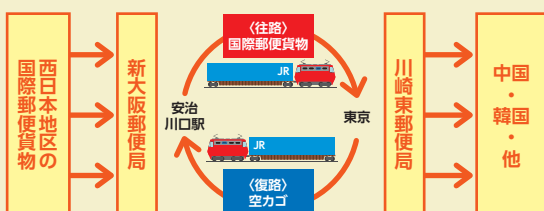
モーダルシフトへの転換と継続の功績が認められ、(社)日本物流団体連合会(物流連)の優良事業者賞「新規開拓部門」を受賞しました。



### 取り組み 1 積載率の高い31フィート 私有コンテナで鉄道輸送

国際郵便貨物のトラック輸送(大阪～川崎)の一部を、31フィートコンテナを利用した鉄道輸送へ転換しました。

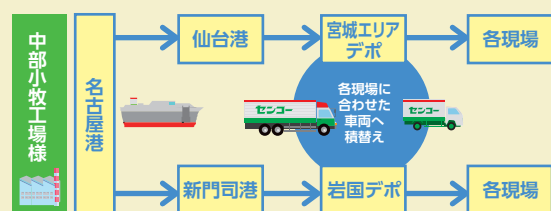
転換前の **81%** のCO<sub>2</sub>を削減



### 取り組み 2 幹線輸送をフェリーによる シャーシ輸送へ転換

重量物で、しかもリードタイムに余裕がある建築資材を、小牧～岩国、小牧～宮城のトラック輸送からRORO船を利用した海上輸送へ転換しました。

転換前の **18%** のCO<sub>2</sub>を削減



## ■センコーグループ環境方針

### 環境理念

次世代へと継承していくべき地球が、豊かな自然環境に恵まれ続けるために、センコーグループは「環境先進企業」を目指し、すべての事業活動を通じて、自主的かつ積極的に環境負荷低減活動、資源の効率的利用などの環境保全活動を継続的に取り組み、将来への責任、社会からの期待に応えます。

### 基本方針

- 1 環境に関連する法規制、条例、協定および、社内規則を順守し、「良き企業市民」として主体的、継続的に環境保全活動に努めます。
- 2 経営トップ自らが、「環境目標」を定め、環境活動推進体制の整備、環境管理規程の整備を図り、継続的な環境パフォーマンス向上に努めます。
- 3 物流企業としてお客様の「調達から廃棄」までの効率的な環境負荷低減物流の支援はもとより、商事、情報、その他関連事業などにおいても、商品のライフサイクルの視点に立った環境負荷低減活動に努めます。
- 4 センコーグループの全従業員および、委託する協力会社に対し「環境目標」の周知および、啓発活動に努めます。そして、ステークホルダーに対し、積極的に環境活動情報の開示に努めます。

## ■環境マネジメントシステムの推進

センコーグループは、国際規格である「ISO14001」および国土交通省所管交通エコロジー・モビリティ財団の「グリーン経営認証」を取得し、これらの環境マネジメントシステムに基づき環境負荷を低減する活動を進めています。

ISO14001取得事業所では、新規格(2015年版)に2017年度から移行。新規格に応じた取り組みをスタートしています。





## ■中期経営5カ年計画での環境目標

中期経営5カ年計画(SIP21)に基づき、2017年度から下記の環境目標を掲げて活動を推進します。

### 第6期 環境マスタープラン(2017~2021年度)の考え方

日本が国際社会に約束した「2030年度にCO<sub>2</sub>排出量を2013年度比27.4%削減(運輸、物流部門)」を達成する上で、センコーグループは、お客様や地域社会に貢献する環境パフォーマンスの向上を目指し、物流を中心にした事業活動に沿って「環境活動の見える化」を積極展開することで、「環境先進企業集団」を実現します。

#### 2021年度までの環境目標(2016年度比)

##### 1 CO<sub>2</sub>削減に関する活動

中期経営5カ年計画のCO<sub>2</sub>削減目標として、5年間で8,310トン(年次1,662トン)以上を目指す。

- 貨物輸送量(トンキロ)当たり燃料使用量：9%削減(エコドライブシステムなどの先端機器導入を推進)
- 売上高当たりエネルギー使用量：9%削減(LEDなど高効率照明や最新空調機器など環境投資の推進)

##### 2 エネルギーミックスによる化石燃料の使用削減

- トラック：平成28年排出ガス規制車両の100%導入
- 渉外車：HVの100%導入
- CNG車の大型トラック：5台、4トントラック代替率10%推進
- リフト：オフロード法2014年排出規制適合車への代替促進

##### 3 廃棄物リサイクルの向上

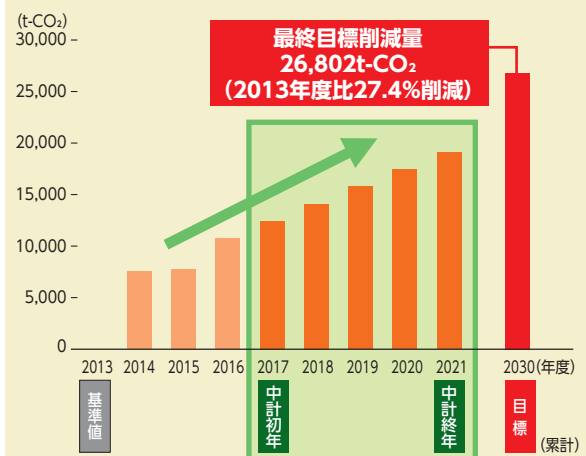
- 産業廃棄物排出量を年次2%削減、有価リサイクル総量年次2%向上

##### 4 お客様や社会に貢献する環境活動

- グリーン物流(モーダルシフト)の提案件数：前年度比20%増
- 500km以上輸送のモーダルシフト率：63%以上

#### CO<sub>2</sub>削減に関する活動

自社取り組みCO<sub>2</sub>目標削減量推移(トン)



中期経営5カ年計画の目標  
年平均**1,662**トン以上削減

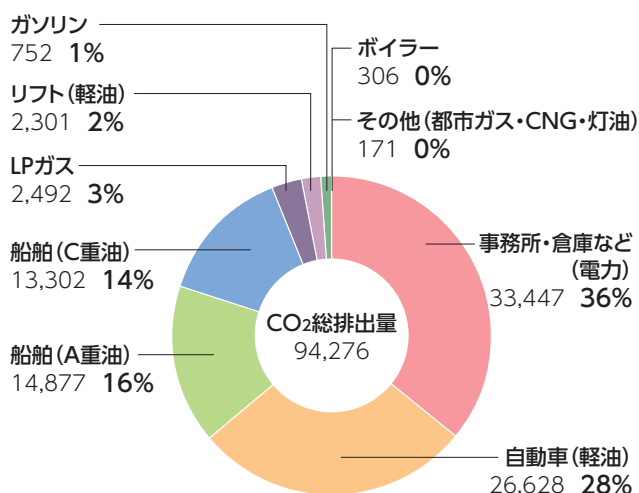
## ■取り組み目標と結果 (2016年度)

|             | 環境取り組み                    | 2016年度 目標   | 2016年度 結果   |
|-------------|---------------------------|---|---|
| 定量目標        | CO <sub>2</sub> 排出量の削減    | 2015年度比 1%削減  | 2015年度比 4.7%増加  |
|             | 売上高(直営倉庫他)当たりのエネルギー使用量の削減 | 2015年度比 1%削減  | 2015年度比 0.3%削減  |
|             | 廃棄物排出総量の削減                | 2015年度比 1%削減  | 2015年度比 2.3%削減  |
|             | リサイクルの推進                  | 2015年度比 1%向上  | 2015年度比 5.5%向上  |
|             | グリーン物流の推進<br>グリーン物流の提案    | 提案件数200件、成約件数120件<br>モーダルシフトを推進   | 提案件数137件、成約件数60件<br>大口のお客様のモーダルシフト成約                          |
| その他<br>取り組み | エコカーの導入                   | 500km以上長距離輸送のモーダルシフト率40%以上<br>HV・ポスト新長期エコ車両(トラック)導入率100%<br>バッテリー式フォークリフト導入率90% | モーダルシフト率63%達成<br>HV・平成22年排出ガス規制導入率100%<br>バッテリー式フォークリフト導入率90% |
|             | 環境マネジメントシステムの機能化          | グリーン経営認証のグループ全体への拡大とISO14001認証の継続   | グリーン経営とISO14001の認証継続<br>2017年度から新規格に移行                        |

## CO<sub>2</sub>排出削減の取り組み

センコーグループは、事業活動で発生するエネルギー使用量およびCO<sub>2</sub>排出量を把握し、今後の環境活動に反映。環境負荷を低減させるさまざまな取り組みを継続させています。

### [ 2016年度のCO<sub>2</sub>排出量用途別内訳 ] (単位:t-CO<sub>2</sub>)

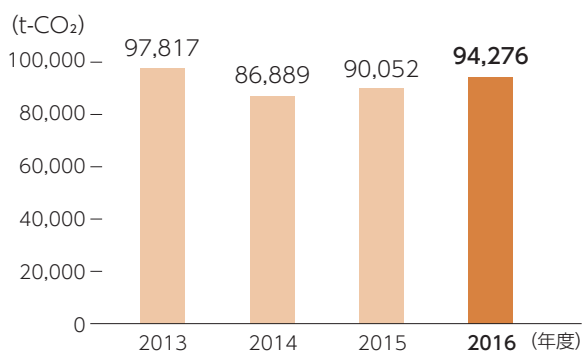


### [ 2016年度のCO<sub>2</sub>排出量エネルギー源別内訳 ]

| INPUT  | 軽油                  | 11,191 kℓ                |
|--------|---------------------|--------------------------|
|        | 重油                  | 10,047 kℓ                |
|        | ガソリン                | 324 kℓ                   |
|        | 灯油                  | 26.6 kℓ                  |
|        | 電力                  | 6,438万 kWh               |
|        | CNG (天然ガス)          | 31.8千 m <sup>3</sup>     |
|        | 都市ガス                | 15.0千 m <sup>3</sup>     |
|        | LPガス                | 831 t                    |
| OUTPUT | CO <sub>2</sub> 排出量 | 94,276 t-CO <sub>2</sub> |

CO<sub>2</sub>排出係数は、「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」ならびに「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令」に基づく2013年12月27日改正公表値による。

### [ 年間CO<sub>2</sub>排出量の推移 ]



### CNG車の導入を推進

輸送部門の石油系燃料依存、地球温暖化、大気汚染など、物流業界を取り巻く課題を解決する手段の1つとして、他燃料よりCO<sub>2</sub>やNO<sub>x</sub>の少ない天然ガスを燃料とするCNG車の導入を大都市部のアパレル輸送を中心に推進しています。また2017年度上期には、JRコンテナ輸送向け大型CNG車を導入する予定です。



東京納品代行㈱のCNG車 (CNG車はNGV=Natural Gas Vehicle の1部です。)

### 省エネ型照明を順次導入

物流センター、事務所の省エネルギー化を推進するため、LEDなどの高効率照明の導入、代替を進めています。

LEDなどの高効率照明は長寿命のため、照明設備交換頻度も減少。物流センターでは高天井での交換作業による転落事故が減少し、より安全性も保たれています。



LEDに入れ替えた阪神支店 西神戸PDセンター

## 太陽光発電事業を展開

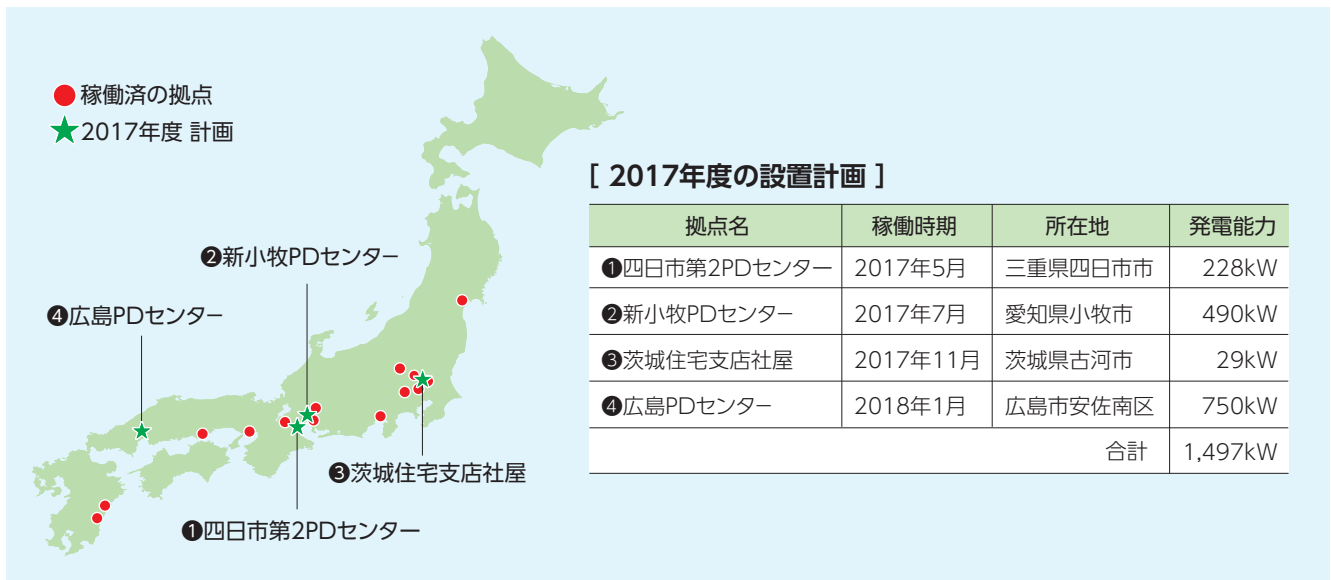
センコーグループでは、広大なPDセンターの屋根を利用した太陽光発電事業を2013年度から開始。再生可能エネルギーの普及促進に貢献しています。

2017年3月末現在、全国14拠点合計の発電出力は12MWです。2017年度は13.5MWの発電を計画しています。



2016年12月に発電を開始した加須PDセンター

発電出力 前年比 **2MW増**  
 全国14拠点で **12MW**の出力で発電  
※経済産業省確認ベース

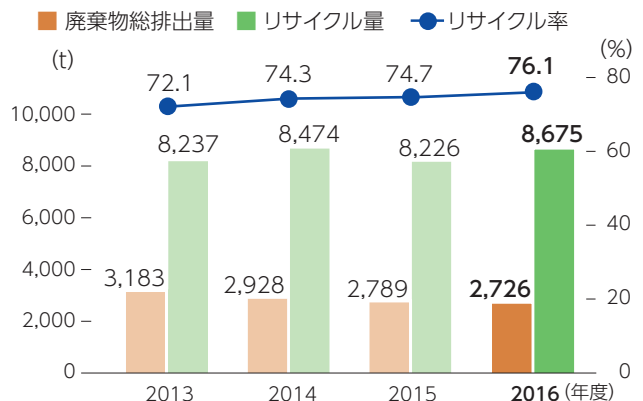


## 廃棄物削減とリサイクルの推進

環境負荷低減の取り組みとして、廃棄物削減とリサイクルを推進しています。

2016年度は、リサイクル不可の廃棄物総排出量で前年比2.3%削減し、リサイクル量が同5.5%増加。その結果、リサイクル率も前年実績を1.4%上回りました。

### [ 廃棄物総排出量とリサイクル量の推移 ]



# 安全活動ダイジェスト

昨年の  
取り組み

ドライバーの技能向上に努めるとともに、安全の管理体制を強化。  
健康管理システムと連動した取り組みを進めています

## 創業100周年を記念し 第1回「グランドチャンピオンシップ」を開催

現場力強化の一環として毎年実施してきた「技能コンテスト」の規模を拡大し、物流競技では過去の技能コンテストのチャンピオンや海外選手10名など各エリアで選抜された108名から個人技能チャンピオンを決定しました。また、電話応対競技でも各エリアから選抜された31名が応対技術を競いました。

### ドライバー競技、オペレーター競技

従来の得点を競う方式から、選手が1対1で競うトーナメント方式にしました。



### 電話応対競技

2016年度は学科試験も取り入れ、知識と技量を競いました。



“センコー流”の  
安全知識、技能を競う、  
ハイレベルな戦いを  
繰り広げた

# 「健康」と「安全」を 連携させ、管理するシステムを開発

“すべてに優先する安全”のために、事故傾向や運転傾向(安全運転状況やエコドライブ状況)と、ドライバーの健康関連データを連携させて、管理するシステムを開発しました。これにより昨今、問題視されている健康起因の事故も未然に防ぐ体制が構築できました。

## 事故速報システムの分析機能向上

センコーグループの事故傾向をタイムリーに、しかも的確に把握し、対策を迅速に展開します。

## 教育管理システムとも連動

入社時の教育や乗務認定、地区訓練時の履修状況、運転適性検査結果などを一目管理できるシステムの活用で従業員の安全レベル向上を推進しています。

事故情報分析機能を充実。  
発生原因を深掘りし、  
実効性のある対策構築や  
教育訓練に活用



## 点呼システムの高度化

点呼時に直近の体調管理、過去の拘束時間や血圧値などの確認、さらにドライバーの定期健康診断後の措置(疾病治療の継続状況)も管理できるシステムを開発。中高年の身体機能の変化を個人別に管理できる仕組みも構築して、運用しています。

ドライバーの健康管理を  
徹底することで  
状況別の業務配慮や指導が可能となり、  
健康起因の事故を未然に防ぐ



# 「安全性優良事業所」認定取得

センコーグループは、安全マネジメントシステムに沿った安全活動の一環として、全事業所での「安全性優良事業所認定※」の取得を目指し取り組んでいます。

2017年3月末現在で98%(前年比1%向上)の事業所が認定を受けています。

※安全性優良事業所認定:

交通安全対策などの取り組みが一定の基準をクリアしたと判断された事業所に対して(社)全日本トラック協会が認定する。

グループ全体で  
**98%**の事業所が認定



(社)全日本トラック協会が  
発行するGマーク

## ■センコーグループ安全方針

### 安全理念

「人間尊重」と「すべてに優先する安全」の精神のもと、『完全<sup>ゼロ</sup>災害職場の確保』を実現する。

1. あらゆる事故・災害は防止することができ、また防止しなければならない。
2. 管理者は従業員の安全に対する責任を負う。
3. 全従業員が「あらゆる事故をなくするのだ」ということを信条にしなければならない。
4. 安全は高品質と高生産性を確保する。

### 基本姿勢

- ◎私たちがセンコーグループは、物流事業の社会的使命を深く認識し、事業活動における安全確保が事業の根幹であることを、全従業員が正しく理解し、安全の向上に寄与する取り組みを推進する。
- ◎経営トップは、現場からトップまでが一体となって事業活動における安全の確保と安全性の向上に努めるよう積極的に主導する。
- ◎安全の基本は、健康な心身であることをセンコーグループに働く者1人ひとりが強く意識し、適切な健康管理を実践する。

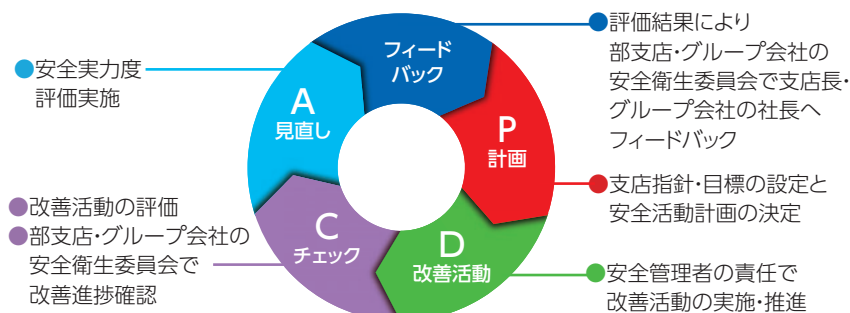
### 重点施策

1. 関係法令を遵守し、社会的責任を果たす。
2. リスクアセスメントを徹底し、あらゆる安全リスクを低減する。
3. 健康管理体制の充実と自主健康増進によって「健康障害」を防止する。
4. 安全衛生活動に関する情報について積極的に公表する。

## ■安全実力度評価の活用

法令に則った内部監査「安全実力度評価」を毎年実施しています。実施後の改善進捗状況を改善ランキング表にまとめ、支店長やグループ会社の社長に定期的に配信しています。具体的な結果を地域のマネジメントにつなげることで、PDCAサイクルを回し、課題解決のスピードアップを図っています。

### 【安全実力度評価の運用サイクル】



## ITを駆使した実効性のある安全への取り組みを推進します

昨今の物流・旅客の輸送業界において、安全に対する認識の甘さがあったと痛感させるような事故が多発しています。その中で、センコーグループは、2016年度、国土交通省の運輸安全マネジメント評価において高評価をいただき、前回の中期経営計画で目標とした車両事故の度数率もスタート初年度から減少させることができました。

しかし、人材不足が叫ばれる中、入社3年未満の若年者における事故や高齢者による事故は増加傾向にあることも事実です。

新しい中期経営5カ年計画にのぞむにあたり、安全統括管理者としてより安全で高品質な物流を提供するため、事故分析・点呼・教育・健康管理各システムを連携し、ITを駆使した実効性のある取り組みを強化、推進してまいります。

また、過重労働が社会問題となり、「働き方改革」が打ち出されましたが、センコーグループとしても、拘束時間の抑制、休息の確保など、公道を使用する事業者としての使命を自覚し、安全で働きやすい職場づくりを推進してまいります。

センコー株式会社

取締役副社長執行役員 安全品質環境担当

たにぐち あきら

谷口 玲



### ■安全目標の達成状況(2016年度)

目標が未達成となったため、新たな対策を策定し推進してまいります。

|         | 2016年度目標 | 2016年度実績 |
|---------|----------|----------|
| 車両事故度数率 | 0.22以下   | 0.37     |
| 労働災害度数率 | 0.675以下  | 1.53     |

#### < 重点対策 >

- 若年者による車両事故・労働災害の削減
- 従業員の高齢化に対応する管理体制の整備強化
- 本質改善に向けた環境整備と効果検証に基づく先進技術の積極的導入
- 各種安全管理システムの連携強化と事故災害の未然防止

### ■安全中期目標(2017年度～2021年度)

中期経営5カ年計画(SIP21)に基づき、最新の運転支援技術などの活用を含め、グループ全体で安全の取り組みを推進します。

#### 車両事故、労働災害 「2016年度から半減」を目指す

##### ●車両事故度数率(道路上の事故)

2016年度実績 2021年度目標  
**0.32** / **0.51** → **0.25**以下  
(グループ) (センコー単体) (単体およびグループ)

##### ●労働災害度数率(休業4日以上の労災)

2016年度実績 2021年度目標  
**1.37** / **1.87** → **0.95**以下  
(グループ) (センコー単体) (単体およびグループ)

#### 重点施策として、 「先進安全技術設備の導入」を進める

##### ●衝突軽減装置の導入

2016年度実績 2021年度目標  
**7.5%** → **50%**以上

##### ●ドライブレコーダーの導入

2016年度実績 2021年度目標  
**52%** → **100%**

## ■チェック機能の強化

経営トップや安全統括管理者による職場巡視を定期的実施しています。現場の第一線で働く従業員と直接コミュニケーションをとり、現場が抱える課題解決を支援し、安全職場の構築と現場力の向上を推進しています。



福田社長による現場巡回



安全統括管理者である米司専務(当時)の現場巡回

## ■地区訓練・安全技能向上の取り組み

“センコー流”をグループ全体に徹底させるため、高度かつ実践的な安全技能訓練を行っています。事故発生率の高い場面を選定した、事故防止のための「地区訓練」はその1つです。

2016年度は次の2つのテーマで訓練を実施し、ドライバーやリフトオペレーターの安全意識と技能の向上に取り組みました。

### ドライバー系

#### 渋滞時の追突事故の撲滅



### リフトオペレーター系

#### リフト走行中の挟まれ災害の撲滅



事故発生率が高いシチュエーション別に、  
実践的な技能訓練を実施



## ■安全教育と実践研修

### 運行管理研修

輸送の安全確保と関係法令遵守を目的に、センコーの支店長やグループ会社の社長76名を対象に研修を実施。改善基準告示を中心に、運行ダイヤの組み方や拘束時間管理のポイントなど、具体例を交えて実践的な研修を行いました。



リスクアセスメント勉強会

### 安全担当者・運行管理者研修

センコーグループおよび職場の安全活動の要となる「安全担当者」、車両営業所の「運行管理者」を対象に、定期的な研修会を開催しています。社会状況や変化について情報共有を行い、社会から信頼される企業風土づくりに役立てています。



安全担当者研修



保安講習



運行管理者研修

## ■安全の「見える化」、事故の再発防止対策

過去に経験した重大事故を教訓として、CS担当部長の巡回チェック、未然防止のための「見える化」、設備の改修を図っています。またトラックについては、衝突軽減ブレーキやふらつき警報、モービルアイなどを搭載した先進安全自動車の導入を推進しています。



ホーム墜転落防止点字ブロック



開口部墜転落防止対策

# 社会活動ダイジェスト

昨年の  
取り組み

従業員の「健康」と「働きがい」のための改革を推進。  
地域社会や世界と共生する活動にも力を注いでいます

## 健康

看護職19名を全国に配置し、  
健康をサポートしています

全国9エリアに看護職（産業保健師、看護師）を配置し、従業員1人ひとりに専門的な健康指導を行っています。2016年は新たに3名の看護職を採用し、19名体制になりました。

また、現状の数値から課題を見出し、健康向上を促す諸施策を考え、実施しています。

### 数値改善に向けた健康支援を続行

有所見率 → 前年比**1.7%**増

再検査・精密検査、  
要治療者率 → 前年比**0.2%**改善



## CSR VOICE

### より信頼され選ばれる企業を目指し、 社会貢献活動に取り組む

センコー株式会社 執行役員 総務部長  
社会貢献推進委員長 竹谷 聡



企業が地域社会の構成員（企業市民）として果たすべき役割は大きく、社会貢献活動は重要な取り組みになっています。

当社も、清掃活動や地域イベント・祭りへの参加、子どもや高齢者向けの交通安全教室の開催、災害時における義援金の提供や寄付金の贈呈、障がい者の就労支援などのさまざまな活動を通して、企業の存続基盤である社会との接点を充実させ社会性を高めていくことで、より信頼され選ばれる企業を目指して、積極的に社会貢献活動に取り組んでいます。

また、昨年7月には、創業100周年事業の一環として、滋賀県東近江市に「こども交通公園」を開園し、子どもたちに遊びながら交通ルールを学んでもらえる施設もオープンさせました。

## ダイバーシティ

### 働き方改革のもと、 「在宅勤務」制度を推進しました

誰もが“働きやすい”“働き続けられる”職場にするために、グループを含めた「働き方改革計画」を策定し、取り組んでいます。

その1つとして、育児や介護などの理由で出勤が難しい従業員を対象に「在宅勤務制度」を導入。2016年度は5名が制度を活用して、新しい働き方を始めています。自宅でも会社と変わらない業務ができる環境をさらに整え、従業員が長く働き続けられるように支援していきます。



社外にいても同じ資料を見ながら作業が可能



テレビ会議システムなどの機能を最大限に活用

## 地域・社会貢献

### 「かものはしプロジェクト」に賛同し、 国際的な支援活動を行っています



カンボジアの女性たちの手作り商品

センコーグループは、カンボジアの人身売買を撲滅する活動を行う「かものはしプロジェクト」の理念に賛同し、商品を購入。100周年積立募金者への御礼品にしました。

センコーグループは貧困状態にいる女性たちを雇用し、雑貨の販売を通し経済的自立をサポートする同プロジェクトを支援することで、子どもたちが未来への希望を持って生きられる世界づくりに役立ちたいと考えています。

約**180**万円分の商品を購入し、  
カンボジアの女性や子どもたちをサポート

## ■“健康企業”を目指し、従業員の健康を増進

センコーグループは、輸送の安全、従業員の心豊かな生活は健康によって保たれると考え、「健康活動の推進」をCSRの重点施策にあげています。

従業員のセルフケアを中心とした「健やか活動」を推進し、グループの健康管理システムを進化させ、心身ともに健康で仕事と生活の調和がとれた“健康企業”を目指しています。

### 全国各地で「健やか活動」

「健やか活動」は2017年で10年目を迎えます。

運動だけでなく、地域清掃などの社会貢献活動、スポーツ大会などコミュニケーション活動に発展させるなど、活動内容をステップアップさせています。より多くの従業員の参加を促すため、健やか活動の内容やシステムを充実させています。



ソフトボール大会(三重支店)



センコーグループミニ運動会(九州主管支店)

| 2008年度～       | 2011年度～          | 2014年度～                                     |
|---------------|------------------|---|
| 健やか活動         | 健やか活動<br>チャレンジ85 | 健やか活動+10                                    |
| 健康に対する意識付けを行う | 運動を習慣付けることに重点を置く | 自ら健康管理を行い、生活習慣病やメンタル不調のリスクを低減する活動へステップアップする |

## ■障がい者雇用の推進

センコーグループでは、(株)センコースクールファーム鳥取(特例子会社)の開設をはじめ、障がい者雇用に力を入れています。

雇用率は前年より減少していますが、法定雇用率以上の高い雇用率を維持。東洋経済新報社が発行する「CSR企業総覧2016年版」ランキングでも21位に選ばれています。

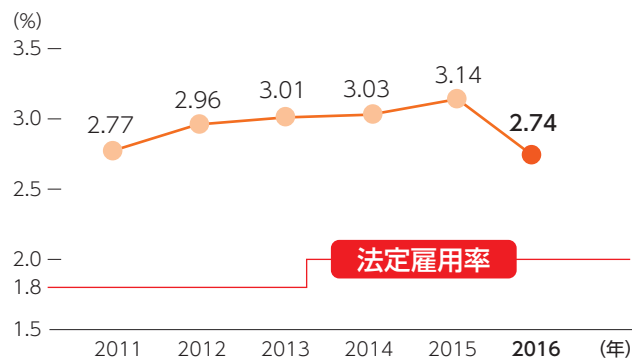
2016年度障がい者雇用率

**2.74%**

(障がい者雇用ランキング21位※)

※東洋経済新報社発行「CSR企業総覧」より

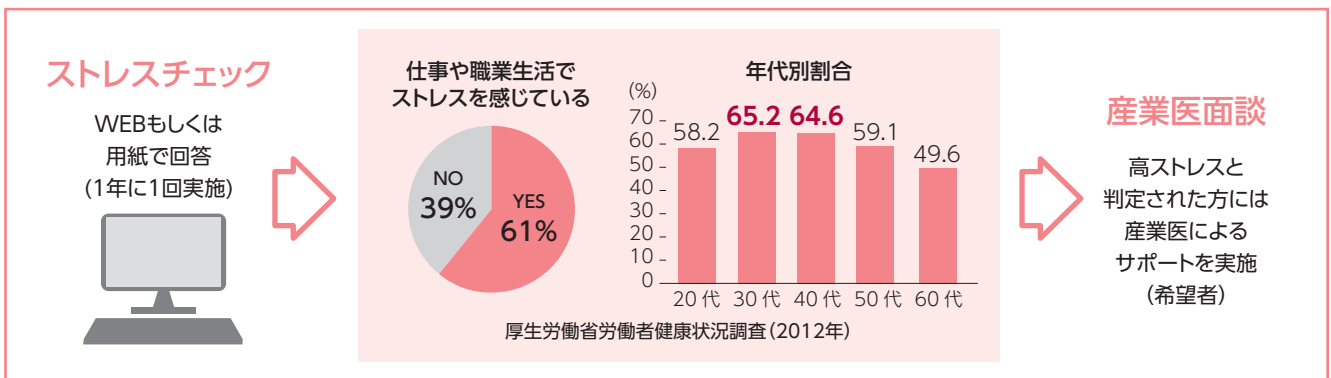
【障がい者雇用率の推移(各年6月現在のデータ)】



## ■ストレスチェックの実施

2015年12月に施行された「改正労働安全衛生法」で、ストレスチェック制度の実施義務がスタートしたことに伴い、センコーグループでもストレスチェックを推進しています。

自身のストレスに気付いて早めに対処し、メンタルヘルス不調を未然に防ぐことを目的に、より多くの人にストレスチェックをしてもらい、高ストレスの疑いのある人には早期の産業医面談を行っています。同時に日頃からのセルフケアの重要性を周知しています。



## ■「多能工化(マルチスキル化)」の推進

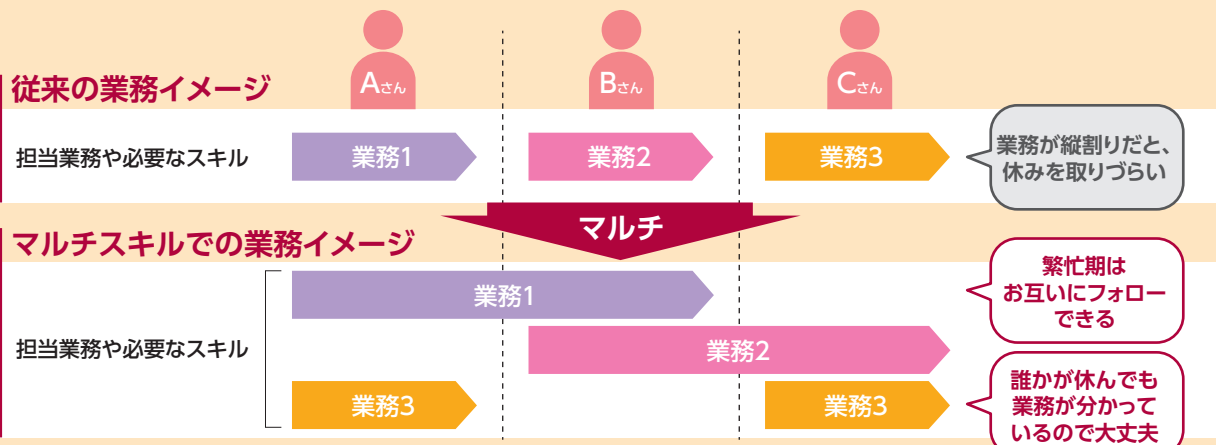
誰もが“働きやすい”“働き続けられる”職場を目指し、「働き方改革」を推進しています。中でも、複数の業務ができる能力・人材の育成として「多能工化(マルチスキル化)」に注力しています。

特定の業務を1人のスタッフが担当するのではなく、業務を分担・共有することで、個人への作業負担の集中や長時間労働が抑制できます。また教え・教わることでお互いのスキルアップにつながるなど、多くのメリットが考えられます。

### 働き方改革のPOINT

- ①個人1人に専任化している業務を**多能工化**
- ②事務職だけ、オペレーターだけの仕事とせず**複合的役割実現**
- ③業務共有化による**シフト制・交代制**を実現
- ④**在宅勤務やサテライトオフィス**といった新しい就労形態の取り入れ

複数の担当者で業務分担し、長時間労働などを抑制。より働きやすい職場に!



## ■地域社会との連携

### 交通安全教室の「出前授業」を開催

各地域で行う「子ども交通安全教室」に加え、小中学校での「出前授業」を2014年度から継続しています。2016年度は、北海道、宮城県、埼玉県、神奈川県、福岡県、宮崎県の6つの学校で開催しました。

出前授業ではトラックの乗車体験なども組み入れ、トラックを身近に感じてもらう良い機会になっています。

<主な出前授業プログラム>

- 子どもたちが安全な渡り方を考え、歩道を横断
- トラックドライバーの目線で死角を体験する
- 左折時の巻き込み事故などの危険性を学ぶ など



小学校で出前授業



小学5年生を対象に出前授業



冷凍車内の荷台の寒さなどの体験会

### 職場体験の受け入れ

全国の各自治体などと協力して就労で悩む若者を受け入れ、講習と軽作業体験会を実施しました。



職場体験の参加者に倉庫を案内(北関東主管支店)

### 清掃活動、献血活動に参加

普段から利用している道路への感謝の気持ちを含め、取り組んでいる清掃活動には、前年を上回る延べ12,439名が参加。献血活動も、前年実績の約2倍にあたる延べ737名が参加しました。



地域住民の方たちと琵琶湖周辺の道路を清掃(京滋主管地区)



献血活動に毎年参加(京滋東支店)

## 地域見守り活動「青色パトロール」

宮崎県延岡地区に業務用車両2台を青パト車両として登録。子どもたちの交通安全、地域の犯罪抑止の役割を担う活動を2011年から継続し、毎週水曜日の通学時間帯に巡回しています。



動く防犯カメラとして、ドライブレコーダーも搭載予定(延岡地区)

## 「認知症サポーターの養成講座」を社内実施

南大阪センコー運輸整備㈱が行う生協個人宅配のお客様向けに、大阪府堺市と連携して認知症サポーターの資格を取得し、取得者2名を講師に認知症サポーター養成講座を開講しています。高齢のお客様への対応方法などをグループワークで討議し、サービス品質の向上に努めています。



ドライバー100名が既に受講済  
(南大阪センコー運輸整備㈱)

## 熊本県に地震の義援金を寄付

2016年6月、熊本地震の義援金として100周年積立募金から500万円を熊本県に寄付。また、お客様と協力して、熊本向けに救援物資を輸送しました。



熊本県大阪事務所の吉永所長(左)に義援金を贈呈

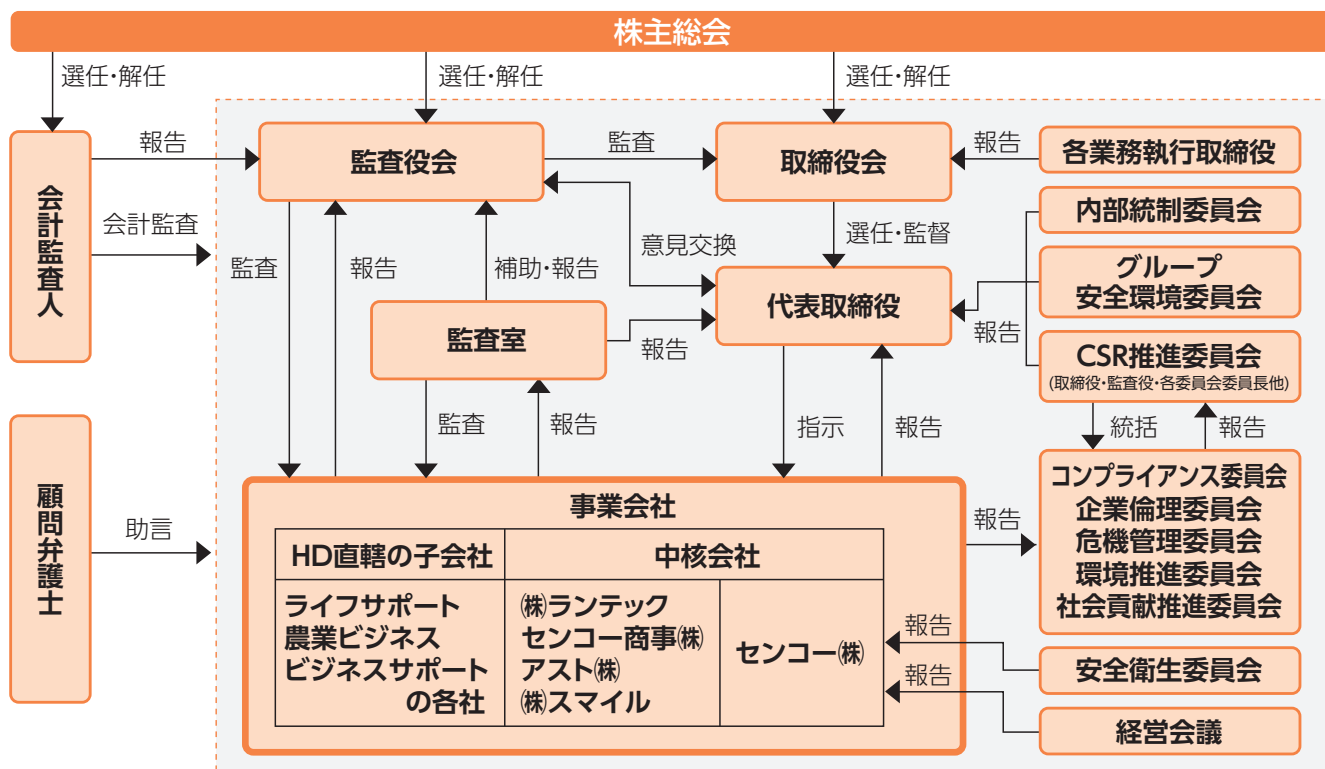
## 東日本大震災の復興イベントに参加

東日本大震災復興イベント「千年希望の丘植樹祭」に参加。岩沼市空港沿岸地区で植樹を行いました。2014年からの3年間で参加数は300名を超え、約2万本を植樹してきました。



## ■コーポレート・ガバナンスの考え方と体制

センコーグループは公共性の高い物流事業を行う企業として、コンプライアンス（法令遵守）に徹した事業活動こそが、企業の社会的責任を果たし、信頼を得ることにつながると考えています。そのため、コーポレート・ガバナンスを経営の最重要課題の1つに位置づけ、体制の強化に努めています。



## ■コーポレート・ガバナンス・コードへの対応

金融庁と東京証券取引所は、実効的なコーポレート・ガバナンスの実現に資する主要な原則として「コーポレート・ガバナンス・コード」を取りまとめ、2015年6月から適用を始めました。

当社は、これを受けてコーポレート・ガバナンスの充実に取り組む姿勢を明確にするため、コーポレート・ガバナンス・コードのすべての項目をWEBサイトで開示しています。

詳しくはWEBサイトをご覧ください

- コーポレート・ガバナンスに関する報告書
- コーポレート・ガバナンス・コード各原則への取り組みについて

<http://www.senkogrouphd.co.jp/ir/governance/>

## ■コンプライアンス経営

法令を遵守し倫理にかなった事業活動を行う「コンプライアンス経営」は、企業が社会的責任を果たし、ステークホルダーの皆様から信頼を得るために最も基本的なことです。

センコーグループでは、すべての役員、従業員が社会的責任を深く理解し、企業活動のあらゆる場面で遵守すべき事項を「センコーグループ企業行動規準」として定めています。



## ■リスク管理体制の強化

事業上起こりうるさまざまなリスクに対して「リスクマネジメントシステム」を構築しています。

万一の緊急事態には人命優先、物的損害の軽減、業務の早期再開、社会的信用の維持、地域社会への支援と貢献の観点で対応する体制を敷いています。

### リスク教本の運用

過去発生したリスク事例や他社事例、法令解説、リスク管理のポイントなどをまとめた「リスク教本」を作成しています。

事業運営に潜む危険を理解し、危機に発展させることがないように、リスク教育に活用しています。

### BCP体制を強化

災害時にも物流を迅速に復旧させるためのBCP（事業継続計画）を構築しています。「身の安全の確保」や「会社への安否報告」など地震発生時の行動をまとめた「地震対応初期行動カード」を作成し、全従業員と家族に配布しています。

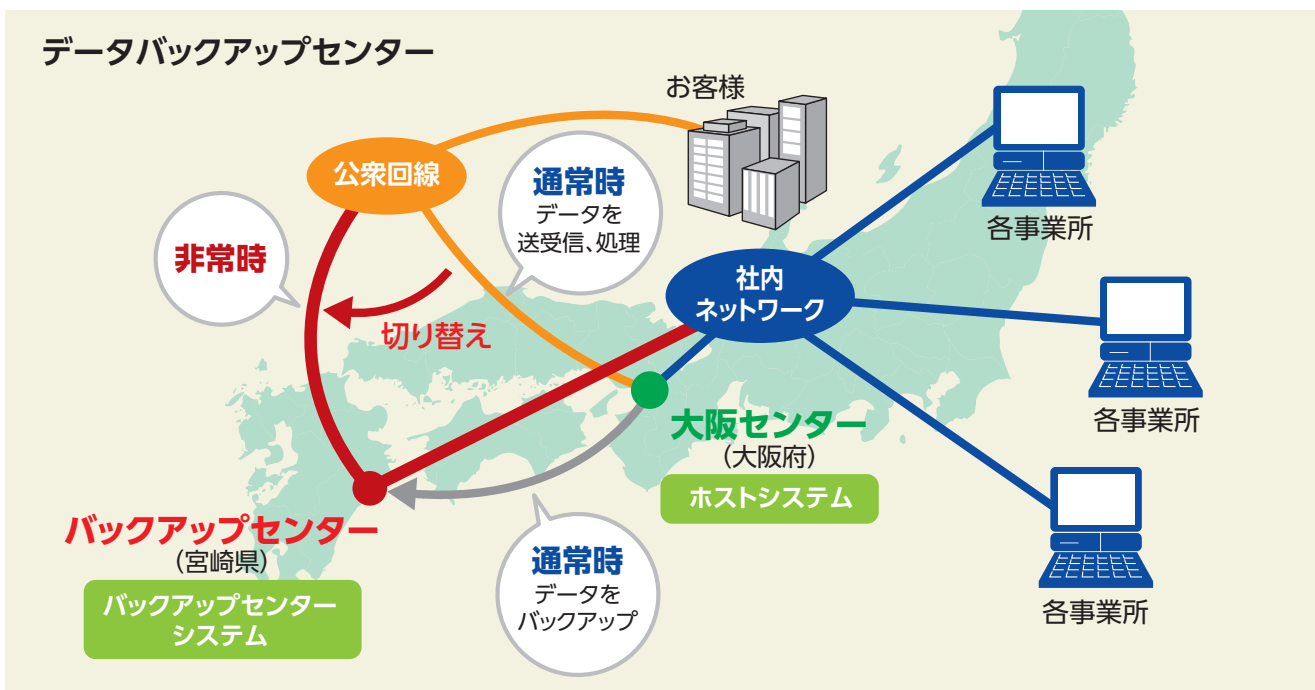
また、従業員がパソコンや携帯電話などで安否を報告することで、従業員の被災状況を確認できるシステムを独自に開発。物流体制維持に必要な従業員の被災状況を把握できる体制を整えています。

### データバックアップセンターの設置

センコーグループではITを駆使した物流サービスを提供していますが、万一の災害でデータセンターが被災した場合に備えてデータバックアップセンターを設置しています。データバックアップセンターはホストマシンとデータの冗長化を図っており、ホストマシンが停止した場合にも30分以内にシステムが復旧し、物流体制を維持できる仕組みになっています。



地震対応初期行動カード (抜粋)

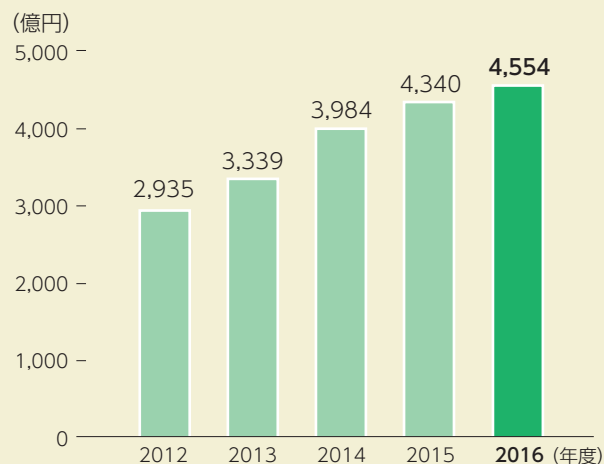


## 会社概要

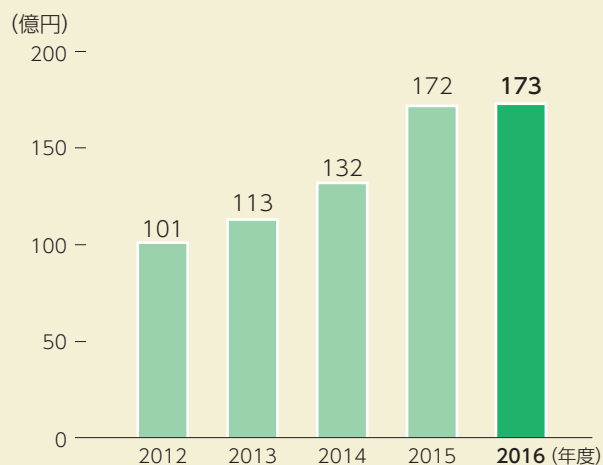
|        |   |
|--------|---|
| 商号     | センコーグループホールディングス株式会社<br>(SENKO Group Holdings Co.,Ltd.) |
| 資本金    | 265億28百万円   |
| 創業     | 1916(大正5)年9月  |
| 設立     | 1946(昭和21)年7月   |
| 本社     | 〒135-0052 東京都江東区潮見2-8-10 潮見SIFビル                        |
| 代表者    | 代表取締役社長 福田 泰久   |
| 事業所数   | 国内 439カ所 海外 33カ所  |
| 従業員数   | 13,915名   |
| 車両台数   | 5,180台(被牽引車両を含む)  |
| 支配下船舶数 | 18隻   |
| 物流センター | 322万㎡   |

2017年3月31日現在 (グループ合計)

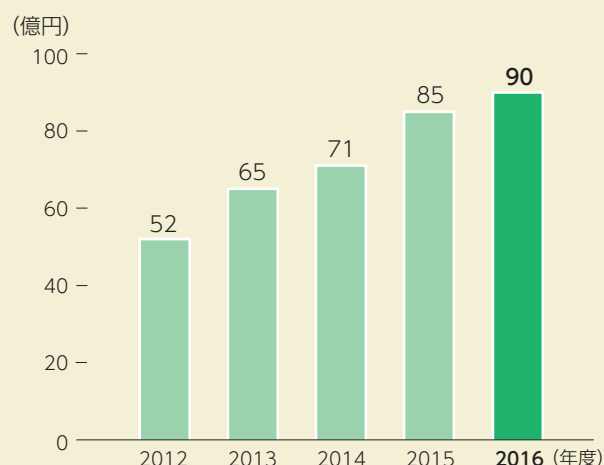
## 連結売上高



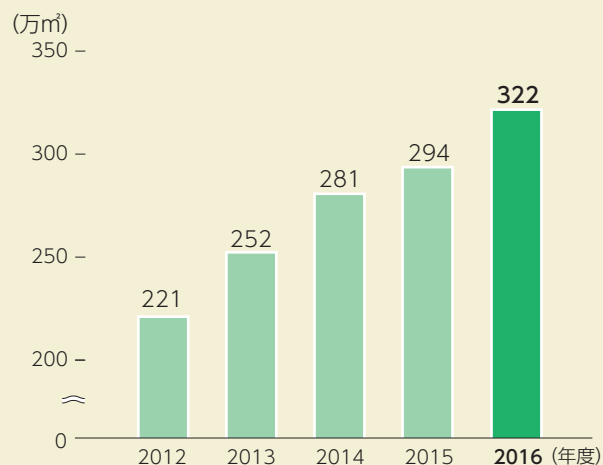
## 連結経常利益



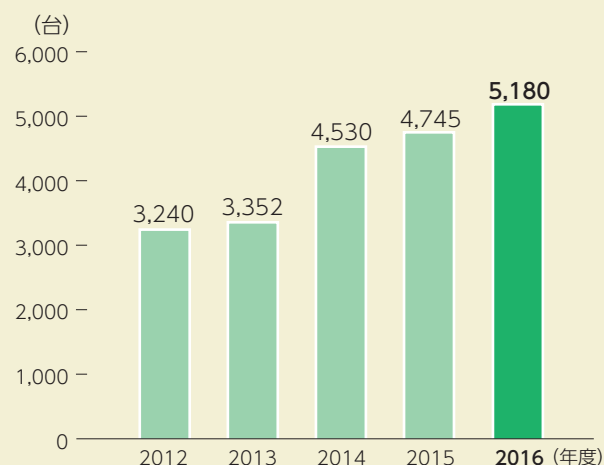
## 連結当期純利益



## 物流センター総面積



## 車両台数



## 国内事業所(439カ所)

2017年3月31日現在

### 2016年度に新たに稼働した主な物流センター



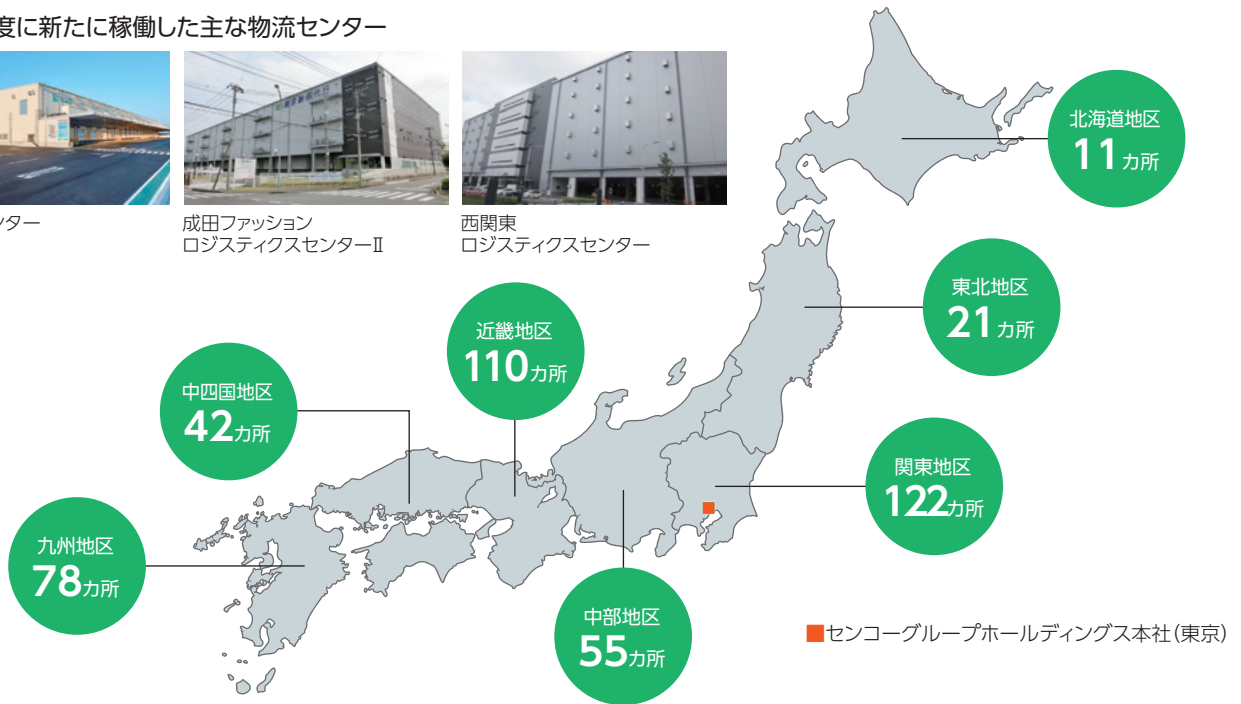
加須PDセンター



成田ファッション  
ロジスティクスセンターⅡ

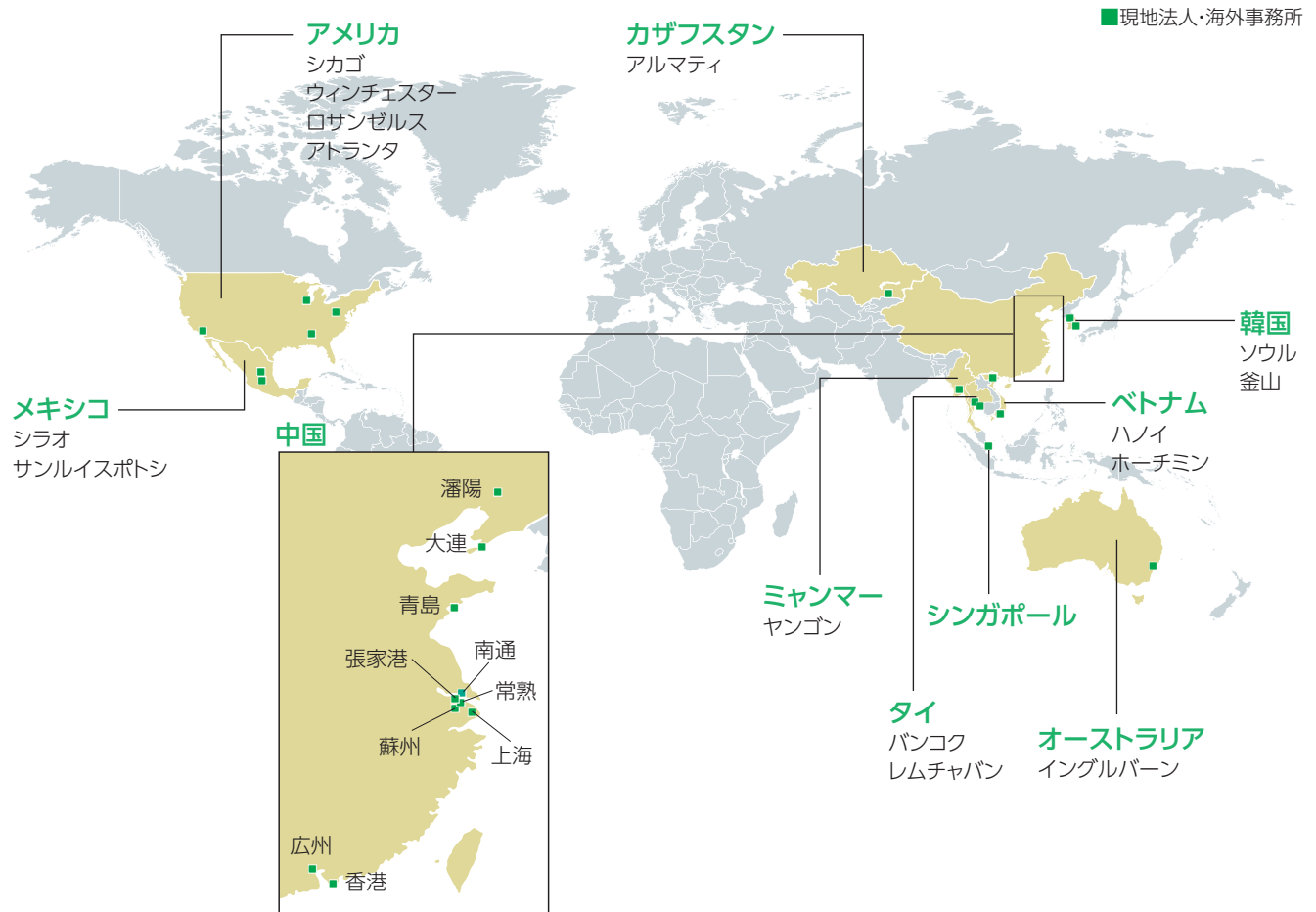


西関東  
ロジスティクスセンター



## 海外事業所(33カ所)

2017年3月31日現在



## センコーグループホールディングス株式会社

お問い合わせ先

広報室

〒531-6115

大阪市北区大淀中1-1-30-1500 梅田スカイビル タワーウエスト15F

TEL.06-6440-5156 FAX.06-6440-5148

URL <http://www.senkogrouphd.co.jp>



見やすく読み間違えにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。